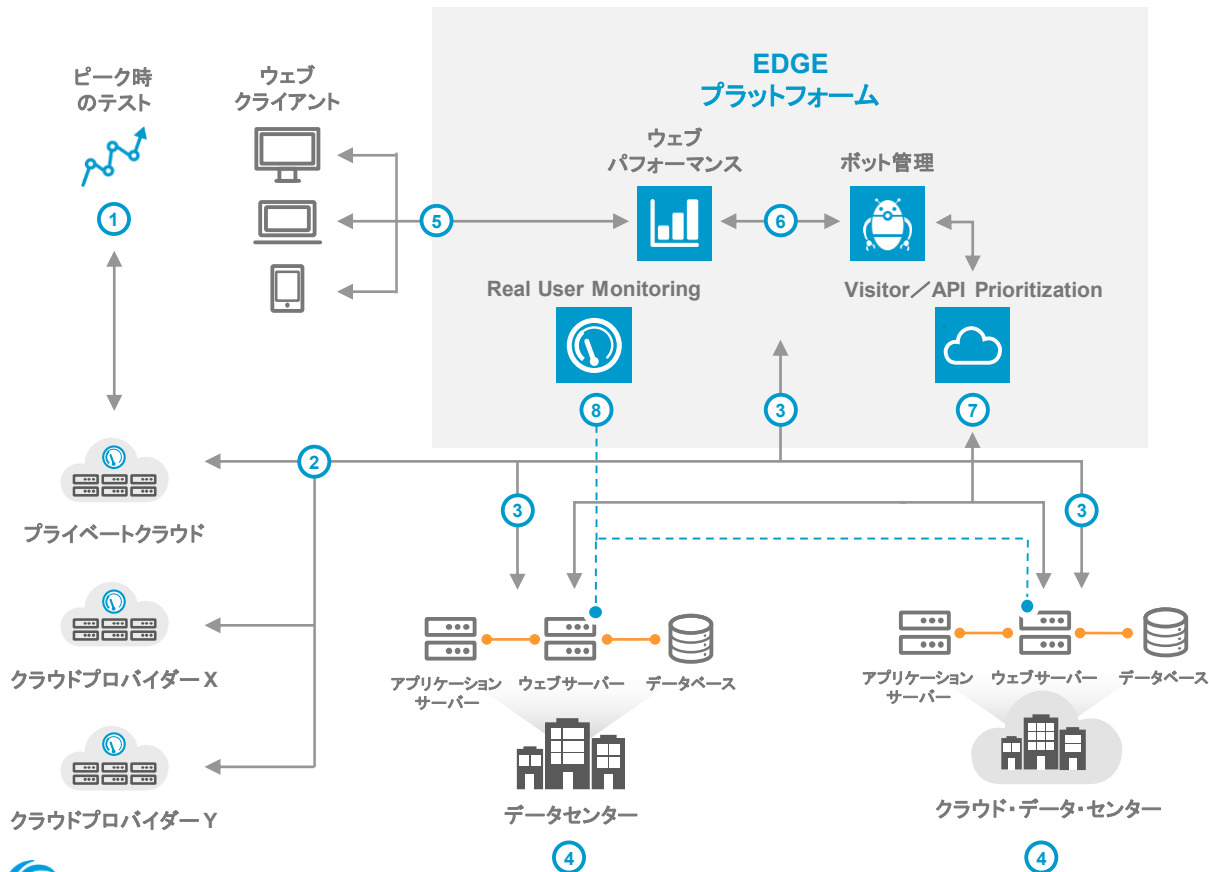


ピーク時の拡張

リファレンスアーキテクチャ



概要

現在の複雑なウェブアプリケーションには多くの可変要素があるため、容易には拡張できません。Akamai のソリューションを導入すれば、需要の急増に備え、ピーク時にリソースとオフロードを最適化できるため、バックエンドの負荷が非常にかかる時間帯でもユーザーに卓越した快適性を提供できます。

- 1 ピーク時のテストでは、クラウドのテストプラットフォームからトラフィックが生成されます。生成元は、複数の異なるプライベートクラウドやパブリッククラウドで構成できます。
- 2 ピーク時のテストでは、数百万のクライアントデバイス（多種類のコンピュータ、デバイス、ブラウザなど）に加え、さまざまなネットワークおよび地域をシミュレーションしたトラフィックを生成できます。
- 3 現実に近い環境でピークトラフィックをシミュレートすることで、ピークが予想される重要なイベントに先立ち、個々のマイクロサービスなど、アプリケーションインフラにおけるブレークポイントを特定できます。
- 4 ピーク規模の負荷テストを行うことで、クラウドを利用したスケールアップに伴うアプリケーション環境でのパフォーマンスの問題を特定できます。
- 5 ピークトラフィックに対応するためにインフラを拡大するのに応じて、Akamai Intelligent Edge Platform が、全体的なインフラストラクチャのリソースのオフロードを最適化します。
- 6 ボット管理でピーク時のボットトラフィックを適正化、負荷削減により、利用者に適したパフォーマンスを維持します。
- 7 Visitor Prioritization により、バックエンドの負荷が非常に高い時でもユーザー体験の管理を実現できます。
- 8 Real User Monitoring で、多様なアプリケーションの混在環境が拡大しても、環境全体におけるパフォーマンスの問題をリアルタイムに特定できます。

キープロダクト

ピーク時のテスト ▶ CloudTest
ウェブパフォーマンス ▶ Ion または Dynamic Site Accelerator
ボット管理 ▶ Bot Manager
Visitor Prioritization ▶ Visitor Prioritization または API Prioritization
Real User Monitoring ▶ mPulse